

第39号議案

令和8年度芦屋市病院事業会計予算

(総則)

第1条 令和8年度芦屋市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病 床 数	199 床
(2) 年 間 入 院 患 者 数	68,292 人
(3) 年 間 外 来 患 者 数	81,940 人
(4) 1 日 平 均 入 院 患 者 数	187.1 人
(5) 1 日 平 均 外 来 患 者 数	340.0 人

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 病院事業収益	6,587,831 千円
第1項 営 業 収 益	6,068,747 千円
第2項 営 業 外 収 益	473,892 千円
第3項 特 別 利 益	45,192 千円
支 出	
第1款 病院事業費用	6,904,893 千円
第1項 営 業 費 用	6,676,194 千円
第2項 営 業 外 費 用	168,699 千円
第3項 特 別 損 失	30,000 千円
第4項 予 備 費	30,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 396,695 千円は過年度損益勘定留保資金 361,184 千円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 35,511 千円で補填するものとする。）。

収 入	
第1款 資本的収入	584,770 千円
第1項 企業債	385,500 千円
第2項 出資金	196,770 千円
第3項 固定資産売却代金	2,500 千円
支 出	
第1款 資本的支出	981,465 千円
第1項 建設改良費	390,624 千円
第2項 企業債償還金	388,541 千円
第3項 他会計からの 長期借入金償還金	199,800 千円
第4項 投資	2,500 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
施設改修整備 医療機器等購入	千円 14,600 370,900	証書借入	5.0%以内	起債年度から据置期間を含めて 30 年以内に償還する。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、500,000 千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) 職 員 給 与 費 | 3,779,707 千円 |
| (2) 交 際 費 | 60 千円 |

(他会計からの補助金)

第8条 営業補助のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、204,334 千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、607,824 千円と定める。

(重要な資産の取得)

第10条 重要な資産の取得は、次のとおりとする。

種 類	名 称	数 量
(1) 器 械 備 品	ネットワークシステムサーバー	一式
	電子カルテシステムサーバー	一式
	生化学・免疫検査分析装置	一式
	臨床検査情報システム	一式
	調剤支援システム	一式

令和8年2月17日提出

芦屋市長 高 島 峻 輔

令和8年度芦屋市病院事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 益 的 収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業収益			6,587,831	
	1 営 業 収 益		6,068,747	室料差額収益 公衆衛生活動収益 医療相談収益 一般会計負担金 その他営業収益
		1 入 院 収 益	3,824,352	
		2 外 来 収 益	1,474,920	
		3 その他営業収益	769,475	
	2 営 業 外 収 益		473,892	預金利息、基金利息 一般会計負担金、補助金 国庫補助金
		1 受 取 利 息	408	
		2 他 会 計 負担金・補助金	376,130	
		3 補 助 金	2,505	
		4 患者外給食収益	5	
		5 長期前受金戻入	13,204	
		6 その他営業外 収 益	81,640	
	3 特 別 利 益		45,192	医師公舎跡地売却差益
		1 固定資産売却益	44,192	
		2 過 年 度 損 益 修 正 益	1,000	

収 益 の 支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業費用			6,904,893	
	1 営業費用		6,676,194	
		1 給 与 費	3,779,707	給料、手当、法定福利費、 賞与引当金繰入額等
		2 材 料 費	1,389,528	薬品、診療材料、給食材料 及び医療消耗備品費
		3 経 費	1,076,621	診療に要する間接費用、管 理に要する費用及び貸倒引 当金繰入額
		4 減 価 償 却 費	396,671	固定資産の減価償却費
		5 資 産 減 耗 費	20,020	固定資産の除却費
		6 研 究 研 修 費	13,647	
	2 営業外費用		168,699	
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	88,663	企業債、長期借入金及び一 時借入金利息
		2 患 者 外 給 食 材 料 費	1,199	
		3 雑 損 失	51,224	
		4 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	27,613	
	3 特別損失		30,000	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	30,000	
	4 予 備 費		30,000	
		1 予 備 費	30,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			584,770	
	1 企 業 債		385,500	
		1 企 業 債	385,500	施設改修整備工事費及び 医療機器等購入費に充当
	2 出 資 金		196,770	
		1 他 会 計 出 資 金	196,770	企業債償還金、備品購入費 等に充当
	3 固 定 資 産 売 却 代 金		2,500	
		1 固定資産売却代金	2,500	医師公舎跡地売却代金

資 本 的 支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			981,465	
	1 建 設 改 良 費		390,624	
		1 増 改 築 工 事 費	14,674	施設改修整備工事費
		2 資 産 購 入 費	375,950	医療機器等購入費
	2 企業債償還金		388,541	
		1 企業債償還金	388,541	
	他会計からの 3 長 期 借 入 金 償 還 金		199,800	
		1 他会計からの長期 借入金償還金	199,800	一般会計からの長期借入金 償還金
	4 投 資		2,500	
		1 長 期 貸 付 金	2,500	職員貸付金

令和 8 年度芦屋市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	千円
	当年度純利益	△ 317,062
	減価償却費	396,671
	引当金の増減額（△は減少）	13,404
	長期前受金戻入額	△ 13,204
	受取利息及び受取配当金	△ 408
	支払利息	88,663
	未収金の増減額（△は増加）	△ 83,171
	未払金の増減額（△は減少）	322,216
	その他	<u>20,020</u>
	小 計	427,129
	利息及び配当金の受取額	408
	利息の支払額	<u>△ 88,663</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	338,874
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 390,624
	有形固定資産の売却による収入	2,500
	貸付けによる支出	<u>△ 2,500</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 390,624
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	385,500
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 388,541
	その他の他会計借入金の返済による支出	△ 199,800
	他会計からの出資による収入	<u>196,770</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,071
	資金増加額（又は減少額）	△ 57,821
	資金期首残高	<u>251,457</u>
	資金期末残高	<u><u>193,636</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(1)全職員

(単位 千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費				法 定 福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	1	468	657,030	1,158,210	1,458,792	3,274,032	505,675	3,779,707
前 年 度	1	472	622,315	1,121,202	1,482,141	3,225,658	468,971	3,694,629
比 較	0	△4	34,715	37,008	△23,349	48,374	36,704	85,078

(単位 千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	専門看護 手 当	時間外勤務 手 当	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当
	本年度	27,640	160,705	29,950	31,178	160,102	288	45,779	6,652	13,209
	前年度	24,348	164,353	33,467	29,910	160,967	324	44,998	6,512	13,192
	比 較	3,292	△3,648	△3,517	1,268	△865	△36	781	140	17
	区 分	宿 日 直 手 当	管 理 職 手 当	管理職員特別勤務手当	期末及び 勤勉手当	初任給調整 手 当	児童手当	賞与引当金 繰 入 額	退職給付費	
	本年度	54,751	55,961	4,094	511,917	900	23,930	208,752	122,984	
	前年度	49,569	52,097	3,572	495,740	900	21,600	211,716	168,876	
	比 較	5,182	3,864	522	16,177	0	2,330	△2,964	△45,892	

(2)職員区分別

ア 会計年度任用職員以外の職員

(単位 千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費				法 定 福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	1	263	396	1,150,467	1,325,146	2,476,009	405,952	2,881,961
前 年 度	1	265	396	1,113,497	1,336,909	2,450,802	381,615	2,832,417
比 較	0	△2	0	36,970	△11,763	25,207	24,337	49,544

(単位 千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	専門看護 手 当	時間外勤務 手 当	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当
	本年度	27,640	159,544	29,950	31,108	157,902	288	44,979	6,572	13,209
	前年度	24,348	163,197	33,467	29,858	158,567	324	44,117	6,512	13,192
	比 較	3,292	△3,653	△3,517	1,250	△665	△36	862	60	17
	区 分	宿 日 直 手 当	管 理 職 手 当	管理職員特別勤務手当	期末及び 勤勉手当	初任給調整 手 当	児童手当	賞与引当金 繰 入 額	退職給付費	
	本年度	54,259	55,961	4,094	383,074	900	23,930	208,752	122,984	
	前年度	49,144	52,097	3,572	355,422	900	21,600	211,716	168,876	
	比 較	5,115	3,864	522	27,652	0	2,330	△2,964	△45,892	

イ 会計年度任用職員

(単位 千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費				法 定 福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	0	205	656,634	7,743	133,646	798,023	99,723	897,746
前 年 度	0	207	621,919	7,705	145,232	774,856	87,356	862,212
比 較	0	△2	34,715	38	△11,586	23,167	12,367	35,534

(単位 千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	専門看護 手 当	時間外勤務 手 当	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当
	本年度	0	1,161	0	70	2,200	0	800	80	0
	前年度	0	1,156	0	52	2,400	0	881	0	0
	比 較	0	5	0	18	△200	0	△81	80	0
	区 分	宿 日 直 手 当	管 理 職 手 当	管理職員特 別勤務手当	期末及び 勤勉手当	初任給調整 手 当	児童手当	賞与引当金 繰 入 額	退職給付費	
	本年度	492	0	0	128,843	0	0	0	0	
	前年度	425	0	0	140,318	0	0	0	0	
	比 較	67	0	0	△11,475	0	0	0	0	

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳		説 明	備 考
給 料	37,008	給与改定等に伴う増減分	27,848	人事院勧告に基づく給料表改定	
		昇給に伴う増減分	8,832	平均昇給率 1.31%	
		その他の増減分	328	職員構成の変動等に伴うもの	
手 当	△23,349	給与改定等に伴う増減分	△4,409	人事院勧告等に基づく給与改定	
		その他の増減分	△18,940	職員構成の変動等に伴うもの	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		医 師 (医療職)	医療技術職 (医療技術職)	看 護 師 (看護職)	医療専門 事 務 職 (医療専門事務職)	事 務 職 (企業職)
8 年 1 月 1 日 現 在	平均給料月額(円)	532,329	306,699	319,518	285,627	449,044
	平均給与月額(円)	10,498,890	419,970	490,052	407,819	645,494
	平 均 年 齢 (歳)	51.1	42.6	40.4	38.2	56.0
7年 1 月 1 日 現 在	平均給料月額(円)	576,201	288,704	291,529	269,680	438,076
	平均給与月額(円)	1,114,383	399,229	443,053	373,588	626,221
	平 均 年 齢 (歳)	51.7	41.6	40.4	37.2	55.0

短時間勤務職員を除く。

(2) 初任給

(単位 円)

区 分	医 師	医療技術職	看 護 師	医療専門事務職	事 務 職
高校卒				198,200	213,100
短大卒		229,000	265,200	210,500	
大学卒		241,200	274,400	228,400	237,600
6 年卒	338,700	255,400			

区 分	国 の 制 度			一般会計の制度
	医 師	医療技術職	看 護 師	事 務 職
高校卒				213,100
短大卒		232,900	254,700	
大学卒		239,800	269,100	237,600
6 年卒	305,600	256,000		

(3) 級別職員数

区分	医 師			医療技術職			看 護 師			医療専門事務職			事 務 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
8年1月1日現在	医4	1	2.9	医技6			看6	1	0.7	医専6			企8	1	50.0
	医3	17	50.0	医技5	3	7.1	看5	8	5.6	医専5	2	14.3	企7		
	医2	11	32.4	医技4	2	4.8	看4	5	3.5	医専4	1	7.1	企6	1	50.0
	医1	5	14.7	医技3	13	30.9	看3	16	11.3	医専3	3	21.4	企5		
				医技2	23	54.8	看2	112	78.9	医専2	6	42.9	企4		
				医技1	1	2.4	看1			医専1	2	14.3	企3		
	計	34	100.0	計	42	100.0	計	142	100.0	計	14	100.0	計	2	100.0
7年1月1日現在	医4	1	2.6	医技6			看6	1	0.6	医専6			企8	1	50.0
	医3	19	50.0	医技5	3	7.1	看5	8	5.1	医専5	1	7.2	企7		
	医2	11	29.0	医技4	3	7.1	看4	4	2.6	医専4	1	7.1	企6	1	50.0
	医1	7	18.4	医技3	12	28.6	看3	17	10.9	医専3	2	14.3	企5		
				医技2	23	54.8	看2	126	80.8	医専2	9	64.3	企4		
				医技1	1	2.4	看1			医専1	1	7.1	企3		
	計	38	100.0	計	42	100.0	計	156	100.0	計	14	100.0	計	2	100.0

基準となる職務	級	医 師	級	医療技術職	級	看 護 師	級	医療専門事務職	級	事 務 職
	医4	病院長	医技6		看6	看護局長	医専6		企8	事務局長
	医3	副病院長 診療局長 科部長 科次長 室次長 参事	医技5	科長 技師長	看5	看護師長 主幹	医専5	課長	企7	
	医2	主任医長 医長	医技4	室長補佐	看4	看護師長	医専4	課長補佐	企6	課長
	医1	副医長 医員	医技3	主査 主任	看3	副看護師長 主査 主任	医専3	主査	企5	
			医技2	技師	看2	看護師	医専2	主事	企4	
			医技1	技師補	看1		医専1	主事補	企3	

(4) 昇 給

区 分		全 職 種	医 師	医療技術職	看 護 師	医療専門 事 務 職	事 務 職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	228	34	39	139	14	2
	昇給に係る職員数(B) (人)	186	25	35	116	10	0
	号給数内訳	1 号給	0	0	0	0	0
		2 号給	7	6	0	0	0
		3 号給	8	1	1	1	0
		4 号給	154	11	33	9	0
		5 号給以上	17	7	9	0	0
	比 率 (B)/(A) (%)	81.6	73.5	89.7	83.5	71.4	0
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	259	42	42	155	18	2
	昇給に係る職員数(B) (人)	225	36	39	133	16	1
	号給数内訳	1 号給	0	0	0	0	0
		2 号給	9	9	0	0	0
		3 号給	14	5	3	4	0
		4 号給	198	21	129	12	1
		5 号給以上	4	1	1	0	0
	比 率 (B)/(A) (%)	86.9	85.7	92.9	85.8	88.9	50.0

暫定再任用職員は除く。

(5) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	医 師	医 療 技 術 職	看 護 師	医療専門 事 務 職	事 務 職
給料総額に対する比率 (%)	13.2	41.7	0.4	5.8	0.0	0.0
支給対象職員の比率 (8年1月1日現在) (%)	70.6	100.0	45.2	78.9	0.0	0.0
支給対象職員1人当たり 平 均 支 給 月 額 (円)	75,977	201,109	9,152	48,032	0	0
代表的な特殊勤務手当の名称	夜間看護、病棟勤務、医師特別調整、非常作業、救急入院					

(6) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の 級等による加算措置
	6 月 (月分)	12 月 (月分)		
本 年 度	(1.225) 2.325	(1.225) 2.325	(2.450) 4.650	有
前 年 度	(1.200) 2.300	(1.200) 2.300	(2.400) 4.600	有
本 年 度 一般会計の制度	(1.225) 2.325	(1.225) 2.325	(2.450) 4.650	有

() 内は、暫定再任用職員の支給率

(7) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区 分	20 年勤続の者 (月分)	25 年勤続の者 (月分)	35 年勤続の者 (月分)	最高限度 (月分)	そ の 他 の 加算措置等
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (3%~45%加算)
一般会計の制度 (支給率等)	同				

(8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	—
地 域 手 当	異	医師職 14%
住 居 手 当	同	—
通 勤 手 当	同	—

令和8年度芦屋市病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和9年3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部			
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	ア 土 地	38,693	
	イ 建 物	8,185,258	
	減価償却累計額	<u>△5,714,736</u>	2,470,522
	ウ 器 械 備 品	2,633,418	
	減価償却累計額	<u>△1,668,959</u>	964,459
	エ 車 両	213	
	減価償却累計額	<u>△172</u>	<u>41</u>
	有形固定資産合計		3,473,715
	(2) 投 資		
	ア 長 期 貸 付 金	7,847	
	イ 基 金	63,490	
	投 資 合 計		<u>71,337</u>
	固 定 資 産 合 計		3,545,052
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 ・ 預 金		193,636
	(2) 未 収 金	889,900	
	貸 倒 引 当 金	<u>△11,584</u>	<u>878,316</u>
	流 動 資 産 合 計		<u>1,071,952</u>
	資 産 合 計		<u><u>4,617,004</u></u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

4,483,536

イ その他の企業債

200,000

(2) 他 会 計 借 入 金

1,855,000

(3) 退 職 給 付 引 当 金

1,074,073

固 定 負 債 合 計

7,612,609

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

451,291

(2) 他 会 計 借 入 金

164,000

(3) 未 払 金

842,599

(4) 賞 与 引 当 金

208,752

(5) そ の 他 流 動 負 債

24,563

流 動 負 債 合 計

1,691,205

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

163,833

長期前受金収益化累計額

△114,118

繰 延 収 益 合 計

49,715

負 債 合 計

9,353,529

資 本 の 部

6 資 本 金

9,084,629

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

ア 受贈資産寄附金

14,800

資 本 剰 余 金 合 計

14,800

(2) 利 益 剰 余 金

ア 当年度未処理欠損金

13,835,954

利 益 剰 余 金 合 計

△13,835,954

剰 余 金 合 計

△13,821,154

資 本 合 計

△4,736,525

負 債 資 本 合 計

4,617,004

注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

(ア) 減価償却の方法

定額法

(イ) 主な耐用年数

建物	15 年～39 年
器械備品	2 年～15 年
車両	2 年～7 年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、他会計が負担すると見込まれる金額を除き、病院事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12 月から 3 月までの 4 か月分）を計上している。また、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費相当額について、当年度の負担に属する額（12 月から 3 月までの 4 か月分）を賞与引当金に含めて計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して 1 年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 2,467,413 千円である。

(2) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金の取崩し

令和8年度において、退職手当として107,641千円を支給する見込みであるため、退職給付引当金107,641千円を取り崩している。

イ 賞与引当金の取崩し

令和8年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金176,345千円を取り崩している。また、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、賞与引当金に含めて計上している法定福利費相当額35,371千円を取り崩している。

ウ 貸倒引当金の取崩し

令和8年度において、不納欠損による損失として1,118千円を計上する見込みであるため、貸倒引当金1,118千円を取り崩している。

3 セグメントの情報の開示

芦屋市病院事業では、病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略している。

4 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

令和 7 年度芦屋市病院事業予定損益計算書（前年度分）

（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで）

（単位 千円）

1 営 業 収 益			
(1) 入 院 収 益	3,194,324		
(2) 外 来 収 益	1,314,864		
(3) そ の 他 営 業 収 益	<u>679,445</u>	5,188,633	
2 営 業 費 用			
(1) 給 与 費	3,547,238		
(2) 材 料 費	1,255,656		
(3) 経 費	1,038,656		
(4) 減 価 償 却 費	399,388		
(5) 資 産 減 耗 費	9,880		
(6) 研 究 研 修 費	<u>13,456</u>	<u>6,264,274</u>	
営 業 損 失			1,075,641
3 営 業 外 収 益			
(1) 受 取 利 息	27		
(2) 他会計負担金・補助金	330,952		
(3) 補 助 金	12,632		
(4) 患 者 外 給 食 収 益	5		
(5) 長 期 前 受 金 戻 入	14,645		
(6) そ の 他 営 業 外 収 益	<u>84,995</u>	443,256	
4 営 業 外 費 用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	77,627		
(2) 患 者 外 給 食 材 料 費	1,044		
(3) 雑 損 失	46,415		
(4) 消費税及び地方消費税	<u>28,797</u>	<u>153,883</u>	<u>289,373</u>
経 常 損 失			786,268

5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>1,000</u>	1,000	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>30,000</u>	30,000	
7 予備費			
(1) 予備費	<u>30,000</u>	<u>30,000</u>	<u>△59,000</u>
当年度純損失			845,268
前年度繰越欠損金			12,673,624
当年度未処理欠損金			<u>13,518,892</u>

令和7年度芦屋市病院事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和8年3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部			
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	ア 土 地	41,193	
	イ 建 物	8,170,584	
	減価償却累計額	<u>△5,482,529</u>	2,688,055
	ウ 器 械 備 品	2,628,694	
	減価償却累計額	<u>△1,855,701</u>	772,993
	エ 車 両	213	
	減価償却累計額	<u>△172</u>	<u>41</u>
	有形固定資産合計		3,502,282
	(2) 投 資		
	ア 長 期 貸 付 金	5,347	
	イ 基 金	<u>63,490</u>	
	投 資 合 計		<u>68,837</u>
	固 定 資 産 合 計		3,571,119
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 ・ 預 金	251,457	
	(2) 未 収 金	806,729	
	貸 倒 引 当 金	<u>△10,559</u>	796,170
	(3) 前 払 金	<u>0</u>	
	流 動 資 産 合 計		<u>1,047,627</u>
	資 産 合 計		<u><u>4,618,746</u></u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

4,549,327

イ その他の企業債

200,000

(2) 他 会 計 借 入 金

2,019,000

(3) 退 職 給 付 引 当 金

1,058,730

固 定 負 債 合 計

7,827,057

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

388,541

(2) 他 会 計 借 入 金

199,800

(3) 未 払 金

520,383

(4) 賞 与 引 当 金

211,716

(5) そ の 他 流 動 負 債

24,563

流 動 負 債 合 計

1,345,003

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

163,833

長期前受金収益化累計額

△100,914

繰 延 収 益 合 計

62,919

負 債 合 計

9,234,979

資 本 の 部

6 資 本 金

8,887,859

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

ア 受贈資産寄附金

14,800

資本剰余金合計

14,800

(2) 利 益 剰 余 金

ア 当年度未処理欠損金

13,518,892

利益剰余金合計

△13,518,892

剰 余 金 合 計

△13,504,092

資 本 合 計

△4,616,233

負 債 資 本 合 計

4,618,746

注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

(ア) 減価償却の方法

定額法

(イ) 主な耐用年数

建物	15 年～39 年
器械備品	2 年～15 年
車両	2 年～7 年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、他会計が負担すると見込まれる金額を除き、病院事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12 月から 3 月までの 4 か月分）を計上している。また、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費相当額について、当年度の負担に属する額（12 月から 3 月までの 4 か月分）を賞与引当金に含めて計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して 1 年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は 2,468,934 千円である。

(2) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金の取崩し

令和7年度において、退職手当として77,252千円を支給する見込みであるため、退職給付引当金77,252千円を取り崩している。

イ 賞与引当金の取崩し

令和7年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金154,179千円を取り崩している。また、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、賞与引当金に含めて計上している法定福利費相当額31,103千円を取り崩している。

ウ 貸倒引当金の取崩し

令和7年度において、不納欠損による損失として582千円を計上する見込みであるため、貸倒引当金582千円を取り崩している。

3 セグメントの情報の開示

芦屋市病院事業では、病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略している。

4 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。